

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成27年7月28日			
所属学部・研究科	総合科学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	カーディフ大学 (国名: イギリス)			
所属学部・学科等名	Business and Economics			
在籍身分	交換留学生 (学部生)			
留学期間	平成26年9月16日～平成27年6月17日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: Tier4			
	ビザ申請先: UK ビザ申請センター (大阪)			
	取得方法, 提出書類: CAS number/ 入学証明書等			
	手続きに要した日数: 約一か月			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成26年9月16日			
経路	関西国際空港→仁川 (インチョン) 空港→アムステルダム空港→カーディフ空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	インターネット・図書館等の大学施設の利用案内 (計2週間程度)			
帰国年月日	平成27年6月17日			
経路	スタンステッド空港→フランクフルト空港→関西国際空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額		円	
	内訳	渡航費	15万	円
		保険料	8万8千	円
		教科書代(学費)	4000	円
		宿舍費	54万	円
		食費	30万	円
		その他 ( 旅行費 )	20万	円
( 費 )		円		
( 費 )		円		
<b>3. 授業について</b>				
年 学期	9月 22日 ~ 月 日			

年 学期	月 日 ~ 6月 12日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	経済学部の授業に限らず、様々な学部の授業からモジュールを選択できます。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	予習をしっかりとしてください。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 7 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 54000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 88000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	留学期間中、現地の病院にお世話になることがなかったので詳しく分かりません。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水道水を飲料水として常用していましたが、特に問題はありませんでした。ルームメイト・フラットメイトと一緒に住もうと考えている方は、寮の清潔が保たれる保証がないので不安な方は一人暮らしをお勧めします。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
現地のお店は基本的に日本より閉まるのが早い(特に日曜日)ので、注意してください。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 28 年 9 月	(当初の卒業予定年月 平成 年 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	英語教室でのアルバイト、INU ファシリテーター、英検・TOEIC 等の資格勉強	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL 等)	コメント
Bridge 英会話辞典	bridge-english-blogspot.co.uk	英語の勉強全般に使えます。
<b>7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)</b>		
何のための留学なのか、今一度留学の目的をはっきりさせてみてください。		

## 学習の概要に関するレポート（1200字）

語学面に関しては、授業内で先生が話していることは特に問題なく聞き取ることが出来たものの、生徒同士のディベートとなると交わされる会話のスピードが桁違いに速く、最初の頃はついていくのに必死だったのを覚えています。というのも僕は日本にいる時でさえ人前で何か自分の意見を発表することが苦手だったので、言語が変わればなおさらでした。授業が始まって何も話せずに50分過ぎてしまうことも多々ありました。そんな自分を情けなく思い、自分を奮い立たせ授業中無理矢理にでも一回は発言しようと心がけましたがそれでも達成できない日もあったので、日本での授業で結構受け身になりがちな人は特に、留学先では少し積極的過ぎるくらいな感じで授業に臨んだ方がいいと思います。

次に授業に関してですが、予習が必要不可欠です。というのも予習しないまま授業に臨むとほとんどの場合、授業内容の理解はおろか50分ないし90分を無駄にしてしまう可能性が高いからです。これは日本での授業でも同じことが言えますが、やはり母語でない授業というのは、日本での倍の予習量が必要と言っても過言ではないと思います。予習した分授業の理解度は高まる、当たり前のことですがそれを物凄く実感させられました。テスト前に苦しみたくないのであれば、やはり日々の予習は不可欠です。

日本の大学の授業との違いの一つに、課題量が挙げられます。各授業で課される課題の量が日本に比べて遥かに多いので、必然的に授業外での勉強時間は増えます。授業の前のリーディング課題やセミナー前の準備等、日本の大学では経験できないことが盛り沢山ですが、真剣に取り組めば取り組むほど自分の糧になるので、ここは頑張るしかありません。その分達成感も味わえるので、良い経験になると思います。日本の大学の課題量では物足りないと感じている人は得に良い刺激になるでしょう。

また、授業のスタイルにも違いがあります。日本の大学の授業は基本的に週に一回ですが、僕の通っていた大学は同じ授業が週に二回、それに関連したセミナーが週に一回、計三回あるのが特徴です。これはおそらく他の大学も似たようなスタイルだと思います。ですから一学期ごとのモジュール数自体は少ないのですが時間割はいっぱいになる、といった感じですね。日本人学生がぶつかる一番の壁は、やはりセミナーだと思います。というのも、日本の大学にはセミナーが浸透していないので、一般的に日本人学生は自ら発言するというのが比較的苦手であるからです。現地の大学の授業スタイルに早く慣れて、違いの違いとして受け入れることが大事かと思われまます。

最後に HUSA プログラム全体に関する感想ですが、僕の場合は奨学金をもらうことができたので、金銭面でかなり援助してもらいました。その点非常に感謝しています。また、応募の際に（希望する大学に依りますが）、ある一定水準の語学試験のスコアが求められ、自分の語学力が低いまま留学するということがないので、言語の問題は比較的解消された段階で留学に行くことができるので、その点有り難いと思います。向こうでどれだけ個人が吸収できるかは、留学に行く前に費やした努力にかかっていると考えているので、そういった面でも HUSA プログラムは「中途半端な状態で生徒を留学させない」といった点で、よくできた制度だと思います。

## 生活の概要に関するレポート (1200字)

到着してからの二週間はまだ右も左も分からない状況だったので、何をすればいいか分からず戸惑ってばかりでした。オリエンテーションに参加して学校案内などをしてもらってやっとこれからの留學生活の外観が見えてきた感じでした。なのでこれから留學に行く人たちには、「到着してすぐ襲いかかる不安は誰しもあるものだ」ということを念頭に置きつつ旅立ってほしいと思います。僕自身そこまで留學初期の頃はホームシックにはかかりませんでした。友達の中には自分の部屋に閉じこもってしまい、泣いてばかりだったという子もいたので、留學前に上記のことを頭の片隅に置いておくだけでも全然違うと思います。

オリエンテーションが終わり授業が本格的に始まってからは、生活パターンがある程度固定化されたのでとりあえず一安心という感じでした。平日は授業が終わると図書館もしくは家に帰り次の予習、フラットメイトと夕食、そしてお風呂に入って寝るといった感じでした。週末は特に決まった予定はなく、フラットメイトとふらっと街に出ていたりする時があれば、家で一日中勉強していた時もあり、週末週末によって全く異なった過ごし方をしていました。今思えば、たまに少し遠出をして綺麗な景色を見に行くのが良い息抜きとなって、翌週からの勉強を頑張れたように思います。

生活を送る上で唯一ぶち当たった問題はフラットメイトとの共同生活の中にありました。イギリス人皆がというわけではないと思いますが、僕のフラットメイトはあまり綺麗好きな方ではなかったため、キッチンの清潔は保たれるどころかほぼ常時汚い状態が続いていました。なのでこれから留學してフラットメイトと一緒に暮らそうと考えている人は、フラットメイトと首尾よくやっていく為にも、多少の妥協は必要不可欠かなと思います(そういう状況に万が一出くわしても上手く対処することが求められます)。そういった意味では、自分が満足できない環境に置かれた際にどうすべきかということを実感したので、それはそれで一つの経験になったかなと思います。

イギリスでの生活は基本的に日本での生活よりお金がかかると思っていたかかった方がいいです。確かに日本で買うより安いものもありますが、ほとんどの物は向こうの方が高い印象を受けました。現地での課題は「いかに生活費を安く抑えるか」だったので、食事は基本的には自炊、たまに外食といった感じでやっていました。僕は元々料理が得意な方ではありませんでしたが、留學生活を通して料理のスキルも少し上がったように感じました。(笑) 留學を通して上がるのは語学力だけではないということを実感した瞬間でもありました。